

## 令和 4 (2022) 年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	腸内細菌由来大腸がん原因物質コリバクチンの発がん機序解明 および生合成阻害の確立
研究代表者	渡辺 賢二 (静岡県立大学・薬学部・教授) ※令和 4 (2022) 年 6 月末現在
研究期間	令和 4 (2022) 年度～令和 8 (2026) 年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p><b>【課題の概要】</b> 本研究は、大腸における発がん誘導因子として大腸菌が産生するコリバクチンの研究成果に立脚したものである。具体的には、コリバクチンによる発がんメカニズムの解明、産生菌の感染ルート解明、高感度検出法の確立、産生菌増殖抑制及び化合物産生阻害化合物の探索を行う研究計画となっている。がん予防医学、病理学、腸内細菌学の専門家を研究分担者とし、多角的な視点からコリバクチンの大腸がんへの関与を明らかにすることを目指している。</p> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b> 大腸がんの発生に関わるコリバクチンとその産生腸内細菌に着目し、そのメカニズム解明、感染ルート、高感度検出、生合成阻害剤（創薬）を目指す意義の高い提案である。研究計画におけるコホート研究や病理学的研究などの医学的アプローチにより、予防医学の分野で大きな波及効果が期待される。目的が達成されれば、胃がんにおけるピロリ菌のように、大腸がんの予防への多大な貢献が期待される。</p>